

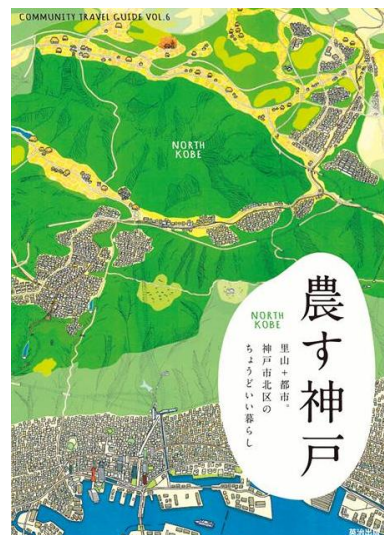
## COMMUNITY TRAVEL GUIDE 第6弾

## 農す神戸 -NORTH KOBE-

2016年9月1日（木）発売開始

「社会の課題に、市民の創造力を。」をテーマに、社会や地域の課題をデザインの持つ美と共感の力で解決する issue+design は、人々との出会いを楽しむガイドブック「COMMUNITY TRAVEL GUIDE」シリーズ第6弾『農す神戸 -NORTH KOBE-』を制作。2016年9月1日に発売開始いたします。

【サイズ】	A5
【ページ】	128頁
【価格】	972円（税込）
【発売日】	2016年9月1日
【出版社】	英治出版
【編者】	COMMUNITY TRAVEL GUIDE編集委員会



## ● 里山+都市。神戸市北区のちょうどいい暮らし

神戸の大都会・三宮から北の空をふと見上げると、四季折々の表情を見せる六甲山が目飛び込んできます。六甲山を越えるように電車で揺られること、20分。ここが神戸だということを忘れてしまうほど、緑あふれる里山風景が広がります。

そこが、神戸市北区。多様な作物が育まれる農村地域と、子どもの声でにぎわうニュータウンが調和するまちです。ゆったりとした里山生活と、すぐそばにある刺激あふれる都市生活。この両方を行き来する、ちょっと新しい暮らしが始まっています。



## | お問い合わせ |

issue+design（イシュープラスデザイン）<http://issueplusdesign.jp>

TEL : 080-8052-1543（広報直通） E-Mail : [info@issueplusdesign.jp](mailto:info@issueplusdesign.jp)（担当：岡本・小菅）

● 北区在住の13組のインタビュー記事

野菜を育てる農家さんはもちろん、週末に山へ遊びに出かける家族や、収穫を祝うお祭りに参加する親子など、『農』を広い意味で捉え、北区の暮らしを楽しむ13組の暮らしを、インタビュー記事で紹介。



● 北区体験レポート/農コラム

『農』のある暮らしを体験できる場所やイベント、お祭りもレポート記事で紹介しているほか、新規就農や物件探しなど、移住する際に知りたい具体的な情報をコラム記事で紹介しています。



COMMUNITY TRAVEL GUIDE ONLINE を開設

2016年7月、日本各地に住まう、魅力的な人々を、もっともっとたくさんの方々に知ってもらいたいとの思いから、WEBサイト「COMMUNITY TRAVEL GUIDE ONLINE」を開設。過去シリーズの内容を一部公開しています。第6弾となる『農す神戸-NORTH KOBE-』も、書籍の掲載内容に限らず、神戸市北区にまつわるイベントや移住に関する情報を発信してまいります。

<http://communitytravel.jp/>（※2016年9月1日「農す神戸」ページ、公開予定）



## 梅田蔦屋書店共催イベントを開催

発売を記念して、梅田蔦屋書店様と共催で下記要綱にてトークイベントを開催いたします。

名称	Community Travel Guide『農す神戸-NORTH KOBE-』発売記念セミナー 神戸市北区の魅力
日時	2016年8月25日（木）19:00 - 20:00
場所	梅田 蔦屋書店コンシェルジュカウンター (大阪府大阪市北区梅田3-1-3 ルクア イーレ9F)
参加費	無料
定員	10名
申込	イベントページの予約フォームよりお申込みください。 <a href="http://real.tsite.jp/umeda/event/2016/08/community-travel-guide-north-kobe.html">http://real.tsite.jp/umeda/event/2016/08/community-travel-guide-north-kobe.html</a>

## COMMUNITY TRAVEL GUIDE シリーズ

2011年の発刊以来4年間、6地域を舞台に制作してきたCommunity Travel Guide。本書の主目的は地域の観光振興です。しかし、地域によっては、観光目的以外でも活用されているケースが増えています。

『海士人』が地域外からの移住者誘致のツールとして活用されたり、『福井人』の制作で知り合った仲間から新たなまちづくりのプロジェクトが続々生まれたり、『大野人』が市内の全中学校の図書館でふるさと教育の教材として活用されたり……地域で暮らす人に光をあてることは、地域を元気にする様々な役割を果たすのです。

第6弾『農す神戸』のテーマは移住です。神戸市北区で里山と都市を両方楽しむ新しい暮らしを始めている人を紹介しています。これからもCommunity Travel Guide シリーズは、「人に光をあてることで、地域を元気にする」、このコンセプトを大切にしながら、新しい領域にチャレンジしていきます。

